1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

上記基本方針に則り、校長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科構成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行い、改善項目を校長に報告する。校長は教育課程編成委員会委員にその旨を伝達する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2025年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
坂本　敏	中央動物専門学校　校長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	
渡来　純如	中央動物専門学校　副校長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	
佐藤　洋子	中央動物専門学校　教務部長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	
上野　弘道	公益社団法人日本動物病院協会（JAHA）専務理事	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	①
長谷川　龍太	株式会社AHB　取締役営業本部長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③
中島　尚美	株式会社トーリーメイト　ペッツマックス千葉美浜店　店長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③
元田　剛	ハートワン動物病院グループ　代表取締役	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③
溝口　健太	ワラビー動物病院グループ　取締役事務長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③
川口　貴之	社会福祉法人 泉陽会　新町光陽苑　施設長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③
榎本　修	株式会社セラフ榎本　代表取締役	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回　6月・1月

（開催日時）
第1回　2025年6月17日（火）　13:00～14:00
第2回　2026年1月20日（火）　14:00～15:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
教育課程編成委員会より出された意見は、翌年度の教科構成に反映させる。

・今年度初めて男子の動物看護師を採用した。今までは女性の動物看護師やトリマーだけだったが、今後は男子のトリマーも採用していこうと考えている。学校では男子の動物看護師、トリマーはどのような状況か？→全体としては圧倒的に女子が多いが、男子は1割程度の在籍である。
・中央動物専門学校の卒業生が、セミナーに参加して「歯磨き指導員」の資格を得て、飼い主さん向けに歯磨き指導を行った結果、歯科の治療依頼が増加し売上UPに貢献した。教育の現場でもぜひ歯科の授業をお願いしたい。→外科実習のなかでスケーリングについても学んでいる。
・以前は夏休み中のインターン実習が義務付けられていたが、それは今も行っているのか？→今も行っている。現行のカリキュラムでは、3年間の中で「動物看護総合実習」として決められた回数、時間数も設定されており、夏期休暇に限らず実施している。
・本年度4名の動物看護師を採用したが、そのうちの1名（4年制大学卒）が3週間後に早期退社した。中央動物専門学校の卒業生は比較的勤務年数が長い。中央動物専門学校の卒業生に話を聞くと、「学校の先生は、とにかく厳しく怖かった。ただそのことが働くうえで自分の為になった。」と実感しているようである。今後も中央動物専門学校に期待するのは、学生に対して厳しい中にも愛情をもって、職業人としての人材育成をしていただくこと、と強く思っている。
・運営計画案1ページ目の4番の令和7年度運営重点項目の1番の人間涵養教育について具体的にやっていることとそれの成果をどう見ているかというのを教えていただきたい。→人間涵養教育は学校法人全体の教育方針。実践の場としてあるのが軽井沢の研修施設。毎年2泊3日の合宿研修を実施。連帯責任となるチームを組み、時間、約束事、規則、皆で協力し合わないと成しえないような研修内容。合宿を通して学んだことは学校に持ち帰り、学校生活で活かすことが一つの例。
・社員は会社に貢献し、会社はその貢献に対して社員に給料を支払う。会社は学校とは全く異なる環境になる。社会人になる前の教育として、就職セミナー等のガイダンスでどのような教育を行っているか。→専門学校なので専門的なことがメインにはなるが、社会人になる前の教育という面では、各科のカリキュラムの中で、特別授業として外部の講師を招いて実施している。例を挙げると、①税務署、②日本年金機構、③警察・消防。日本年金機構は年金の仕組や意義などの講義を実施。警察署や消防署にはご協力をいただいて災害時の避難や闇バイト防止の注意喚起等をする時間も設けている。
・当院で今年強化しようとしていることは接遇。医療＝技術、技術＝おもてなし。これを目指して、今年は日本航空や全日空の元客室乗務員を医療専門の講師として招いて、講演会を実施予定。昨年は電話応対の接遇セミナーを実施し、クレームに対しての対応がとてもスムーズになった。専門学校でカリキュラムや授業の中に、そういう方を実際に招いての講演会などはやられているのか。→秘書検定やビジネス検定等にも対応できるビジネスマナー専門の講師を招き、一般教養的な科目の中で実施している。その講師の授業だけではなく元客室乗務員をお招きするなど特別授業も検討したい。
・エコーに慣れる授業の検討をお願いしたい。エコーは時間がかかる。診断画像の取得を動物看護師に担ってもらいたい。エコーを触る経験と画像解析ができるようにまずは教育をしていただきたいと思う。これは時代の流れで今後ニーズが高まると思っている。→エコーに関しては、画像診断実習という授業で週1時間実施。独自のカリキュラムとして対応し、本校では継続して実施している。
・トリマーにもエコーは関係しており、オンラインで初診解禁するという話がある昨今。トリマーがエコーをあてて、内臓の状態を報告し、獣医師にオンラインで診てもらうことができるということである。
・健康を維持するデンタルケア授業の要望。代謝病のスタートは虫歯や歯周病からとされ、歯の健康を維持することで寿命が延びることもわかっている。若い時から充分説明し指導をする必要がある時代かと思う。ぜひデンタルケアの授業をお願いしたい。→デンタルケアの授業は行っている。カリキュラムの外科実習の中でも歯石除去を行っている。ご要望を受けさらに内容を充実させ継続して実施する。

令和7年度については、委員会の結果を鑑みて、教科構成の必要な修正を行うものとする。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習・演習等は専門学校教育の根幹をなす重要なものである。よって、常に最新の技術を指導する必要があり、
そのために学校と企業等が密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。
連携を行う企業とは、職業教育協定書（教育事業受託契約書）を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。
①カリキュラムの作成　②講義及び実習の実施　③講義・実習教材の作成
④成績評価及び進級審議等に関する助言　⑤その他の実習運営上に必要となる事項

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	株式会社ラ・デタント
コミュニケーショントレーニング	話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎から身だしなみやふるまいを含めた飼主やスタッフ間での接し方を学ぶ。カルテなど情報の記録・管理、電話応対、会計など院内業務について修得する。グリーフケアを理解した飼主応対が実践できるよう学習する。	株式会社ラ・デタント
動物感染症学	病原体の分類、性状等を理解し、感染や病害発生のメカニズムを学習する。動物から人間へ感染する疾病の理解と予防、対策を含めた衛生管理の知識を学ぶ。主に犬猫に感染する寄生虫の形態や生活環など基礎を理解し、検査方法および虫卵の鑑別についても習得する。	有限会社サエキベテリナリィ・サイエンス
エキゾチックアニマル実習	爬虫類・鳥類・げっ歯類などの動物の生態を理解したうえで適正な飼養、疾病、治療、看護などを学ぶ。	株式会社EIC
生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ
人と動物の関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針 「教員等の研修に関する規程」により、本校の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業等と連携の上で、高度化、多様化する理論及び新技術等について研修に努めなければならない。 校長は、教育職にある者に対し、教員の業務経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し、校長に承認を得た者は企業と連携した研修を認めている。
（2）研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名：動物病院研修（河原動物病院） 期間：令和6年4月より毎週火曜日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：動物病院研修（まつもと動物病院） 期間：令和6年4月より毎週金曜日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：LIFE＆TAIL『犬の僧帽弁閉鎖不全症の最新治療戦略』 期間：令和6年4月24日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：株式会社　VETS　TECH『診断・治療に活かす皮膚病のルーチン検査』 期間：令和6年4月30日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：株式会社　VETS　TECH『ロジックで考える猫の上部消化管へのアプローチ』 期間：令和6年6月11日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：LIFE＆TAIL『眼科スキルアップセミナー：白内障～専門病院への紹介タイミング～』 期間：令和6年6月13日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：富士フイルムVETシステムズ（株）『犬のクッシング症候群の診断～内分泌検査の原理と意義を見直す～』 期間：令和6年6月28日～8月28日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：動物検診センターキャミック『てんかん診断におけるMRIの意義とその後の治療』 期間：令和6年7月1日～8月30日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：LIFE＆TAIL『眼科スキルアップセミナー：進行性網膜萎縮』 期間：令和6年7月11日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名「教職員研修会」（連携企業等：一般社団法人全国動物専門学校協会） 期間：令和6年8月8日　　対象：全教員 内容：全国動物専門学校協会における検定関連の確認、意見交換
研修名：株式会社　VETS　TECH『病型分類に基づいた点耳薬の使い分け』 期間：令和6年8月16日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：ロイヤルカナンジャポン『ロイヤルカナンベテリナリーシンポジウム　for　Vet　Nurse』 期間：令和6年8月18日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため
研修名：LIFE＆TAIL『眼科スキルアップセミナー：緑内障』 期間：令和6年8月19日　対象：担当教員 内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため

研修名：株式会社　VETS　TECH『Veterinary　Cardio　Night』
期間：令和6年8月22日～8月30日　対象：担当教員
内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため

研修名：ベーリンガーインゲルハイム　アニマルヘルスジャパン（株）『猫の新たな糖尿病治療薬　センベルコ上市セミナー』
期間：令和6年9月8日　対象：担当教員
内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため

研修名：LIFE＆TAIL『眼科スキルアップセミナー：水晶体・網膜の加齢性疾患～その診断と対処法～』
期間：令和6年9月18日　対象：担当教員
内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため

研修名：JSFMねこ医学会『猫の集会』
期間：令和6年11月10日　対象：担当教員
内容：常に新しい知識を現場で習得し、教員としての質の向上のため

研修名：株式会社QIX　第10回　アジア動物スキンケア検定
期間：令和7年1月15日,29日,2月5日　対象：担当教員
内容：学校校有犬動物治療の為の新しい知識習得および、教員としての資質向上の為

研修名：第28回　日本獣医皮膚科学会学術大会・総会
期間：令和7年3月9日　対象：担当教員
内容：学校校有犬動物治療の為の新しい知識習得および、教員としての資質向上の為

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教授力向上研修」（連携企業等：専門学校コンソーシアムTokyo教育の会）
期間：令和6年8月7日・令和6年8月9日　　対象：担当教員
内容：教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。

研修名「インストラクショナルデザイン研修」（連携企業等：専門学校コンソーシアムTokyo教育の会）
期間：令和6年8月20日　　対象：担当教員
内容：教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「教職員研修会」（連携企業等：一般社団法人全国動物専門学校協会）
期間：令和7年8月　　対象：全教員
内容：全国動物専門学校協会における検定関連の確認、意見交換

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教授力向上研修」（連携企業等：専門学校コンソーシアムTokyo教育の会）
期間：令和7年8月　　対象：担当教員
内容：教員としての資質向上、及び教授力向上を目的とする。

研修名「インストラクショナルデザイン研修」（連携企業等：専門学校コンソーシアムTokyo教育の会）
期間：令和7年8月　　対象：担当教員
内容：教員としての資質向上のため、授業設計方法を習得する

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、中央動物専門学校運営指針に則り自己評価を実施する。
実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。
また、卒業生・企業・業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的・継続的な改善を図る。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか
（2）学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②学則・細則・内規等は整備されているか ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか
（3）教育活動	①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか ③授業評価の実施体制はあるか ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑤成績評価の基準は明確になっているか ⑥教員資質向上のための研修が行われているか
（4）教育成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
（5）学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥保護者と適切に連携しているか
（6）教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか
（7）学生の募集と受け入れ	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか ④学納金は妥当なものとなっているか
（8）財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適性に行われているか ④財務情報公開の体制整備はできているか
（9）法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ④自己評価結果を公開しているか
（10）社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか
（11）国際交流（留学生）	①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか ②留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

①日本の人口が減少している中で、日本語能力が低いなどの問題で難しいとは思うが、留学生募集の強化をお願いしたい。⇒留学生に関しては、卒業後日本での就労、就職等の兼ね合いでなかなか難しい状況にある。もし入学検討される留学生がいたら是非紹介をお願いしたい。
②適切な評価をされていると感じています。動物愛護法の改定により急激に犬の頭数が減ってきており大手の企業は生体販売だけでなく飼い主に専門技術の提供いただくだけでなく、飼い主さんとのコミュニケーション能力などのサポートに力を入れてきている。専門学校の場合には専門技術の基礎の部分を学ぶことが多くなってしまうが、現場との溝のようなものが大きくならないように現場に即した教育をし、即戦力となりうる人材育成を心掛けることにより、企業側から進んで採用してもらえる人材育成を目指していく必要があるのではないか。⇒コミュニケーション能力については継続して教育の中で取り入れていきたい。
③評価の方は適切であると感じています。中央動物専門学校での教員としての経験と、その後卒業生を採用する企業側としての観点から、中央動物専門学校の学生は他校に比べ専門性が高いと感じている。愛玩動物看護師は資格取得も含め、今後も専門性が高くなると職種であると感じている。実際には機器に触れたり、動物に触れたり、作業を行うなどの実務教育が学校で経験できていることが、他校に比べてアドバンテージになっているのではないかと思う。学校や企業に馴染めず退学や退職する人が多い中、カウンセリングなどの対策がなされているのは評価が高い。なおSNSなどを利用し、匿名で相談、悩み事を投稿できるような受け皿があると良いと思う。⇒メンタル面が弱い学生に対してはカウンセラーの増員をした。ただSNSでというのはまだ出来ていないので検討していきたい。
④評価に関しては適切になされていると思っています。卒業生の現状把握について、他校からインターンシップ依頼された際の評価書の中に、卒業生の在籍状況との項目があった。ぜひ活用してみてはどうか。
⑤評価に関してはすべて適切かと思っています。今年、我が子2人が無事に就職も決まり感謝申し上げます。2人とも入学にあたって入学案内書見て学科選びの際に、愛玩動物看護師は難しそうで、もし愛玩動物看護師になれなかった時に、トリマーの選択肢があるのか、ということも念頭において検討していた。看護科3年次のカリキュラムに美容実習の選択科目があり、トリマーの初級以上が目指せるのではないかと期待していたのですが、3年次のカリキュラムが変更になったのはとても残念ではあったが、今となっては愛玩動物看護師資格取得に向けての勉強でそれどころではない状況のため結果的に良かったと思っている。⇒愛玩動物看護師の受験体制と受験資格の詳細の発表がされた翌年のためカリキュラム変更に至った経緯があり、何卒ご容赦願いたい。
⑥評価に関しましては謙虚に、適切に評価されています。地域や町会として一番気になるところは防災対策なのですが、「動物と共生する区民の会」を立ち上げる準備会において、わんわん避難訓練のようなものを今後考えていきたいと思っており、北区からの要望に関しても、学校とは情報共有し合って出来ること、出来ないことも含めて今後とも協力していければと思います。⇒昨年新たに就任された北区長より動物学校を拠点に同行非難をするのに口頭ではあるが協力依頼があり、現在北区や獣医師会などと連携している状況。
⑦全ての項目におきまして適切であると評価させていただいた。今後の課題で上がっていた2－3のコンプライアンスの体制について、クレーム対応についてはゼロを目指すのは無理であると思いますので、クレーム発生後の対応が出来ているのであれば、3ではなく4でも良いのではないかと感じました。3－6の教員の資質向上のための研修は非常に大事で、いろいろな専門学校で教職員の資質低下というところが課題であるという話はよく聞き、協会としても教員の資質向上の研修支援をするケースも増えている。中央動物専門学校も3が2になることなく4を目指していただければと感じています。最後に10－3地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているかについて、専門学校として地域に貢献できるような人材の育成と、学校としての地域貢献が大事なので、3ではなく4を目指せるように頑張っていただければと思います。⇒クレーム対応や教員の資質向上につきましては協会様のご協力を賜りたいと思います。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2025年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
阿良田　由紀	東田端自治会長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	近隣・地域
大野　公嗣	一般社団法人　全日本動物専門教育協会　専務理事	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	業界団体
内山　亜里沙	中央動物専門学校　卒業生	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	卒業生
青木　りえ	中央動物専門学校　保護者	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	保護者
小山田　千秋	株式会社スタンダード　オールペット事業部　取締役	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	企業
飛高　健太郎	タロウ動物病院　院長	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	企業
鹿野　正顕	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ　代表取締役	2025年4月1日～2027年3月31日（2年）	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）
https://www.chuo-a.ac.jp/guide/pdf/school_official_evaluation_report.pdf　毎年10月上旬

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

概ねホームページで公開しているが、学校行事等に関しては適宜、ブログにて情報公開を行う。
特に関連する企業等及び外部講師に対しては、年度開始にあたり会議を開催し、その際、校長から学校概要・運営指針等を説明し、実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職・研修先の紹介の依頼、様々な教育活動の情報公開も行う。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	①教育理念 ②教育方針 ③学校概要（理事長名、校長名、所在地等）
（2）各学科等の教育	①修業年限・定員 ②学科の特徴、実習内容 ③カリキュラム、時間割 ④資格取得 ⑤卒業後の進路
（3）教職員	①教員紹介 ②教員数
（4）キャリア教育・実践的職業教育	①実技・実習を中心とした職業教育への取り組み ②企業等と連携した校外実習（インターンシップ）
（5）様々な教育活動・教育環境	①教育施設の紹介 ②学校行事のスケジュール ③学校行事の報告 ④その他活動の報告
（6）学生の生活支援	①学生寮の紹介 ②資格取得支援 ③就職支援
（7）学生納付金・修学支援	①学費・諸費用 ②奨学金制度 ③学費減免制度
（8）学校の財務	①計算書類（資金収支・事業活動収支・賃借対照表・収益事業） ②監査報告書（監事・独立監査法人）
（9）学校評価	①自己評価・公表 ②学校関係者評価・公表
（10）国際連携の状況	①留学生の受け入れ ②留学生の学習支援
（11）その他	①校有動物の情報 ②学友会・同窓会の情報

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
ホームページ　（URL:https://www.chuo-a.ac.jp/index.html）